

特集 まちキャンって、どんなところ？



大学生

大学生



大学生

地域



大学生

地域



企業

企業



地域

高校生



高校生

企業

サントミューゼで表彰式を行いました
上田市功労者表彰式、優良建設工事表彰式 6・7

バックンマクソンと多文化共生を考えてみませんか(入場無料)
シリーズ文化講演会…………… 8

公共温泉・プール施設、ごみの収集など
年末年始の営業のお知らせ…………… 22

12月1日現在の情報のため、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントや会議などの内容が変更になる場合があります。ホームページなどをご確認いただくか、各担当までお問い合わせください。



まちキャンの3つの主な役割を紹介します

「連携の窓口」…… 地域と大学をつなぐ

対象：学生、地域・企業

具体例

- イベント企画や商品開発の相談
- 学生ボランティアの募集
- 各種相談受付

上田で何かしたい学生と、学生と協力してイベントの企画や、若者のアイデアを商品開発に活かしたい地域・企業の方との調整を行います。

学生の方

まちキャンにふらっと立ち寄って、興味があることをお話しください。

地域・企業の方

お気軽に電話(☎75・0065)でご相談ください。

学生と地域・企業を結びつけます



小林 成子さん
(コーディネーター)

「連携活動の場」…… 地域と大学とで課題の解決を図る

対象：学生、地域・企業

具体例

- 市民、NPO、企業、行政など地域と大学との協働活動の場
- まちなかの学生の集い・活動の場
- 地域企業、団体などから学生へのPRの場



高校生 × 大学生 × 大学

上田を盛り上げるイベントについて、それぞれの立場から意見を交わします。



大学生 × 企業

大学生とVR(仮想現実)の技術を持つ企業とがアイデアを出し合っています。



地域 × 学生

学生の柔軟な発想や意見を地域の方が聞きながら、上田についてディスカッションしています。

「学びの場」…… 研究・教育資源を市民の学びに活かす

対象：どなたでも

具体例

- 市民向け講座の開催
- 地域で活躍する人材を講師に迎えた地域志向キャリア教育の場
- 地域と連携した研究の場
- まちなかをフィールドとした教育の場

市民向け講座の受講者を募集します

(1)新しい価値を考える ～アイデア創出ワーク～

身近にある便利なものを例に、どのような価値があるのかを考え、アイデアの創出法を学びます。

日時 2月5日(日) 13:30～15:00

(2)様々な考え方を学ぶ ～マインドデザイン～

ポジティブシンキング、アクティブシンキング、ロジカルシンキングなど、さまざまな考え方について学びます。

日時 2月19日(日) 13:30～15:00

◇(1)(2)共通事項

場所 まちなかキャンパスうえだ(中央2-5-10 丸陽ビル1階)

講師 中西弘充氏(信州大学繊維学部・特任准教授)

対象 どなたでも(高校生以上向け) 定員 先着10名

申込 1月6日(休)以降、住所、氏名、連絡先を☎へ電話で。

☎ まちなかキャンパスうえだ ☎75・0065(FAX兼用)

✉ info_mcu@email.plala.or.jp



Voice 過去の講座を受講された方の声

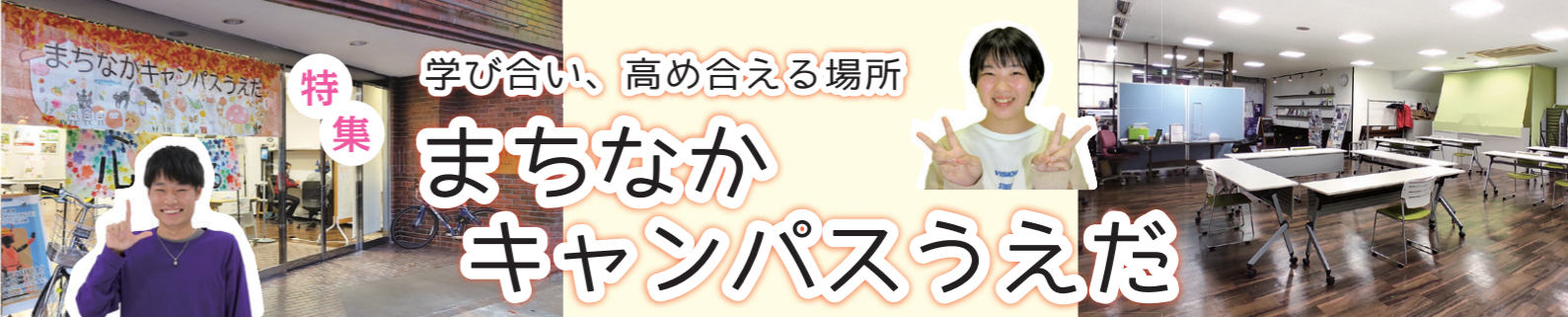
- ◎講座名：キノコの世界(Zoom開催)
- ◎主催：筑波大学山岳科学センター

キノコの多様性の話は、専門的なことを小学生にも分かりやすく説明してくれて、楽しくキノコのことを学ぶことができました。

- ◎講座名：ロボットを使ったプログラム体験
- ◎主催：長野県工科短期大学校

プログラミング体験講座を子どもと受講しました。自分で判断して動くロボットを使って、子どもがプログラムに興味を持つきっかけになりました。

いろんな講座があつておもしろそうだな。



特集

学び合い、高め合える場所

まちなか キャンパスうえだ

まちなかキャンパスうえだ(通称「まちキャン」)は、地域と大学をつなぐ「連携の窓口」、地域と大学が連携して地域課題などの解決を図る「連携活動の場」、大学における研究・教育資源を市民の学びに活かす「学びの場」であり、高校や大学などの学生や教員と地域・企業の人々が集い、交流し、その活動を通じて地域のにぎわいを創出するまちづくりの拠点です。そんなまちキャンとまちキャンを拠点に活動している学生たちを紹介しします。

☎ 学園都市推進室 ☎75・2502



(上田女子短期大学の学生たちが入り口の看板を製作)

まちキャンって何?

上田で何かしたいと思っている高校生や大学生の相談にのったり、学生と商品開発やイベントなどをやってみたい地域・企業の方が交流できる場所です。

誰が運営しているの?

市内の5大学など(長野大学・信州大学・上田女子短期大学・長野県工科短期大学校・筑波大学山岳科学センター)と市が共同で運営をしています。

どういう時に利用できるの?

学生同士の交流や学生との勉強会・打ち合わせ・イベントであればどなたでも利用できます。

- ※利用には予約が必要です。
- ※営利目的の使用はできません。

まちキャンについてお答えします

学生、地域・企業とどうやって交流するの?

まちキャンにいるコーディネーターが学生と地域・企業の調整役を担っています。お気軽にご相談ください。



学園都市推進室 倉澤 隆彦

まちキャンではどんな活動がされているの?

主に、学生と地域・企業との打ち合わせ場所として使用されています。その他には、大学教員などを講師として迎え、どなたでも参加できる市民向け講座を開催しています。市民向け講座の受講案内は、広報うえだに掲載しています。



ホームページ

今月号は、3ページに市民向け講座を掲載しています。また、まちキャンホームページでも情報発信しています。

皆さまのおかげで、5周年

平成28年7月に開設されてから今年で5周年を迎えました。これからも学生と地域の皆さんとの懸け橋としての役割を担っていきます。

現在までの利用者は、延べ2万人以上

上田で何かしたい、学びたいと考え利用された方の数です。まちキャンでは、学生と地域・企業を結び付けるだけでなく、興味のある市民向け講座にどなたでも参加できます。

まちキャンの概要

- 場所** 中央2-5-10 丸陽ビル1階
※専用駐車場はありません
- 開館時間** 月～金曜日 12:00～17:00
※市民向け講座などにより、開館時間を変更する場合があります
- 休館日** 土・日曜日、8月13日～16日、12月27日～1月5日
- 設備** テーブル、イス、プロジェクター、スクリーン、マイク、冷暖房、Wi-Fi



SNSで上田の地域に興味を持って、自分の居場所を見つけてもらいたい

おいでよ! まちキャンくん

(Twitter)

大学生

Twitterで始めたきっかけは、まちキャンのような役割を担いたい

新型コロナウイルスの影響で、まちキャンに人が集まらなくなったからです。まちキャンは、学生と学生をつなげたり、学生と地域・企業をつなげたりする場なので、そういう場所からつなげる力がなくなっていくことに危機感を覚えて、それに代わって学生主体でまちキャンのような役割のできるものを作れたらいいんじゃないかという話になり、『おいでよ!まちキャンくん』ができました。

目指せ、コーディネーター!!

当初はコーディネーターの代わりにしたいと思っていましたが、なかなか達成できていません。Twitterのフォロワー数を増やしていき、『おいでよ!まちキャンくん』を通じて、まちキャンに来ている方や、学生団体の代表の方を紹介できるようにしていきたいです。そのためにも、Twitterで『おいでよ!まちキャンくん』の存在を皆さんに知ってもらい、人とのつながりを増やしたいと思っています。

Twitterでまちキャンの情報を発信中



おいでよ!まちキャンくん (Twitter)

市内の学生が行きたくなるようなお店・景色・イベントをツイートしています。



アカウント名 @oideMACHICAM

まちキャンインタビュー

さまざまな思いを持つ学生や地域の方がまちキャンを通じて知り合い、日々活動しています。今回、まちキャンをよく利用する学生2人に、まちキャンで活動している4つの団体に思いやまちキャンとのつながり取材してもらいました!

いもがわ しき 芋川 史貴さん (長野大学3年生)



きたはら ほのか 北原 穂香さん (長野大学3年生)



上田の魅力をもっと知ってもらおうと市民に、そして市外に

てくてくうえだ

(長野大学 鈴木ゼミ)

大学生

X

地域



すずき まこと 鈴木 誠さん

(長野大学企業情報学部准教授)

てくてくしながら、上田を元気に

「上田で働く人を通して、上田の魅力を探求する」このコンセプトのもとに、鈴木ゼミでは、タウン誌『てくてくうえだ』を作成しています。作成の経験をキャリアに活かしてもらうこと、社会を見る目を養うことなど、目的はさまざまですが、最も重要なのは大学が設置されている市の発展・活性化を促進することですね。タイトルにもあるように、街をてくてくしながら上田の魅力を探求・発信し、あらゆる世代が、「住みたい・住み続けたいと思う上田市」になるように促していきたいです。

社会との接点がまちキャンの魅力

まちキャンには、大学にはない「社会との接点」があります。そこで人の魅力に触れられることがまちキャンの魅力であり、まちキャンという場所は、コーディネーターがいて初めて意味を持ちます。コーディネーターの人柄はもちろん、人とのつながりや、アドバイスをもらえるので、信頼して私たちも動くことができます。だからこそ、コーディネーターという存在がもっと評価されるべきだと思います。



(長野大学生)

街を活性化させて元気にさせよう
水と街をマッチングさせよう

大学生

X

地域

地域とマッチし、これからも活動していきたい

1年生の時に入ったゼミの先生が河川の生態系を専門にされていて、千曲川がすごい川だと認識しました。新潟県では信濃川を利用して、水辺で遊ぶような「ミズベリング」という面白い企画をやっていますが、上田にはない企画なので、もったいないと感じ、学生で何かできたら面白いなと思ったことがサークルを作ったきっかけです。昨年は、スカイランタンのイベントを川で行う予定でしたが、台風やコロナの影響で一旦中止になりました。しかし、まちキャンがきっかけで今年の3月に菅平で実施することができ、コロナ禍の影響を受けた菅平の皆さんや多くの方の心を明るく灯せたと思います。

MIZUMATCHとまちキャン

まちキャンに来ていなかったら、サークルを設立することや人脈が広がることもなかったと思います。仮にサークルができていたとしても、自分がやりたいことを上手く言語化できなかったり、活動に表せなかったりして、本当にやりたいことができなかったと思います。たまたま菅平で行うボランティアに誘われたことが、菅平のイベントにつながりました。継続的なイベントになってきましたが、これはまちキャンがなかったらできなかったと思うのでとても感謝しています。



にとう わかな 二藤 和香菜さん (長野大学3年生)

来年3月にスカイランタンイベントを企画。開催に向けて随時Twitterから情報発信中。



アカウント名 @mizumatch

まちキャンは『学園都市・上田』を実現するための”地域と大学の連携拠点”です

市は、学園都市づくりのため、大学などの専門知識や学生の若い力を地域の活性化に活かすとともに、地元をはじめ多くの学生が集まる魅力あるまちづくりに取り組みます。



～取材を通しての感想～

まちキャンや学生による活動の魅力を広報うえだを読んでくださる方にどうしたら伝わるかを考えました!

まちキャンが地域で果たす役割の重要性を感じ、頑張る人々の姿から刺激を得る貴重な機会になりました!



上田で働く大人の姿から、高校生が将来へのヒントを得るきっかけにしてほしい

OTONAのYELL

(上田染谷丘高校生)

高校生

X

地域

上田で働く大人の姿から、エールを

大人の方がどうしてその仕事をするようになったのかきっかけを知りたかったんです。そこで、実際に上小地域で働く大人の方を対象に、「高校生の時はどうだったか」「大人になってどんな仕事をしているのか」取材し記事にまとめました。このプロジェクトには、それを記事にして、SNSなどを通じて発信することで、上小地域の高校生にとって、今後の進路の参考にしてもらいたいという思いを込めています。

OTONAのYELLとまちキャン

企画を実行するにあたって、まちキャンを会場に会議やチームでの作業、取材への対応などで、全てを行いました。なにより、コーディネーターがインタビュー相手とつながってくださったり、アドバイスをくださったので実現できたと感じています。企画とは関係のないところでも、まちキャンに来ればコーディネーターが優しく声をかけてくれますし、人生の糧となるような人との出会いがありました。今後はもっとまちキャンが地域に根付いてほしいです。



▶市長にインタビューしました



おぐら みおり 小倉 穂さん

(上田染谷丘高校3年生)

2018平昌オリンピックスキージャンプ代表選手の岩瀬香里さんや上田市長などにインタビューした内容を発信しています。



note